

# 柏市消費者教育推進連絡会つうしん No.21

<柏市消費者教育推進連絡会について>

- ◇目的◇ 柏市の学校における消費者教育の推進
- ◇委員◇ 柏市教育委員会職員，小，中，高等学校の教員
- ◇庶務◇ 柏市消費生活センター

## 第2回柏市消費者教育推進連絡会を開催しました



▲11月2日(金)沼南保健センター会議室3での会議の様子

## 公正で持続可能な消費行動を身につけた大人は育っているのか？

杉本秀彰 指導課長（柏市消費者教育推進連絡会 座長）

成年年齢の引き下げが目前ですが，日本人の文章を読み解く力，物事を読み取って正しく判断する力は年々低下しています。

そればかりではなく，最近の社会現象を見ると，大人になりたくない，なれない人が増えているように感じます。

良い大人，持続可能な良い社会を作ろうとする大人を育てるために，消費者教育は一つの鍵になるでしょう。

<柏市消費者教育推進計画>

### 消費者教育の目標

- 1 消費者被害をふせぐ
- 2 自ら学び行動する消費者を増やし，消費生活の安定と向上を目指す
- 3 自らの消費生活が社会や未来に影響を与えることを自覚し，消費生活をとおしてより良い社会づくりに関わる消費者を増やす



## 1 消費生活相談から見た子どもの消費者トラブル

柏市消費生活センター 谷岡消費生活相談員

### ほとんどがインターネット関連のトラブル！

[例]

- 実在する大手通販サイトをかたり未納料金を請求するSMS
- アダルトサイトにアクセスしたらカメラのシャッター音が！
- 解約済みのスマホで幼稚園児がオンラインゲームのアイテム購入
- 安易に投稿した画像や書き込みを削除したい、削除できない
- 若者を狙う儲け話に乗って、消費者金融で借金



### トラブルが起こる前に 保護者にも児童生徒にも知っておいてほしいこと

- ・何もない時からトラブル事例を知り、ネットの危険を自覚しておく
- ・禁止するだけでなく、「こんなときにどうするか」の手立てを知っておく
- ・契約の重みや責任について早い時期から学んでおく

★一度見ておくことをお勧めしたいウェブサイト → **IPA** (独) 情報処理推進機構

## 2 平成30・31年度の活動について

指導課 岩田将英 指導主事を中心に、昨年度の反省や意見を踏まえて、小、中、高等学校のグループごとにどのような消費者教育ができるか検討しました。

### ★高等学校グループ

- ・現代社会、情報、家庭科の3教科共「クーリング・オフ」についての学習がある。
- ・各教科に共通する項目を抽出し、消費者教育に関わる大きなものを作ることが可能だ。
- ・各教科の先生方に、含まれている消費者教育の内容に気付いていただくことが必要だ。
- ・現在の高校生に不足している力を小、中学校に提示して補っていただければ有意義だ。

### ★中学校グループ

- ・社会科、家庭科で「契約」の学習をする等、教科間で内容が被っていることに気付いた。授業の「ネタ」や「教材」を出しあって共有することは有意義だ。
- ・ほとんどの生徒がスマートフォン所持者である。実際のトラブル事例を授業の切り口にすることで、生徒の関心は一層高まるだろう。

### ★小学校グループ (高学年の内容を検討)

- ・社会科・・・情報、環境(環境にはエネルギー関連の内容を組み込む)
- ・家庭科・・・お金と物の使い方、商品売買の仕組みの部分に、幅と深みを加える。
- ・総合的な学習の時間・・・情報、環境での取り組みに消費者教育を絡める
- ・道徳・・・情報モラル

### 「消費者教育」キーワードは教科間連携と小、中、高の縦のつながり！

各委員は3月までに、それぞれの教科で試験的に消費者教育を実践し、柏市の消費者教育の推進についてさらに検討を重ねます！